



10月も終わりを迎え、朝晩の冷え込みを感じるようになり、校内の樹木も少しずつ紅葉を始めていますが、校舎の裏山が様々な彩りに覆われるのは、まだまだ先のようにです。しかし、日の暮れるのは確実に早くなり、夕方には冷たさや寒さを感じる季節になってきました。11月は旧暦で霜が降りる月、霜月と呼ばれています。また、11月7日（木）は立冬となり、冬がすぐそばまで来ていることを感じさせられます。保護者や地域の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

素晴らしい、歌の祭典でした

先週の25日（金）には、文化祭を開催しました。平日でありながら、多くの保護者の方々にお越し頂き、本校の取り組みを参観して頂いたこと、深く感謝申し上げます。合唱の部では、どの学級も美しい歌声で、素敵な発表を聞かせてくれました。特に3年生の発表には、感動を覚え、久しぶりに身震いを感じたほどです。音楽科の先生方、担任の先生方そして生徒の頑張りに感謝します。

また、展示の部では、学級、部活動、委員会のそれぞれ工夫のある展示や、午後からの、ギターマンドリン部、吹奏楽部の発表は、これまでの活動の成果が披露され、大きな感動を与えてくれました。

後期が始まって2週間がたちますが、生徒たちは落ち着いた中、安心して安全な学校生活が送れています。さらに「矢野中スタンダード」の定着を図りたいと思います。



読書の秋、秋を楽しもう

さて、秋も深まり長い夜を持て余すようになりました。昔から「秋の夜長は読書しよう」ということがいわれています。暑い夏を過ぎて、気候的にも、時間的にも読書にはうってつけの環境となっているためだと思います。

「声に出して読みたい日本語」というベストセラーを書いた、齋藤孝さんという大学の先生がいます。その齋藤先生は『読書力』という本に「読書は、自分の世界観や価値観を形成し、自分自身の世界を作っていく、つまり、自己形成にとって強力な道である」と書いておられます。

また、読書をするコミュニケーション能力が格段にアップするとも言っておられます。読書によって自己を確立する力とともに、他人との関係を築くことの力が養われると言うのです。この二つの力は、変化の激しいこれからの社会を生きていく上で、もっとも必要とされる重要な力となります。

青少年健全育成大会が開催されます

11月2日（土）に、第33回安芸地区中学・高校「なくそう犯罪」意見発表大会が海田町ひまわりプラザで10時から開催されます。また、午後からは、第34回安芸区青少年健全育成大会が安芸区民文化センター2階スタジオで13時30分から開催されます。それぞれ安芸地区の学校を代表する生徒が意見発表を行います。本校からは、2年生の2名が意見発表を行います。